

2024-25 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1575 回 (1)

会 長 鹿 内 要 秀 幹 事 吉 山 聡

クラブ会長テーマ



「 奉仕によるこび、よりよい社会を築こう 」

日 時	2024 年 7 月 2 日 (火) 12:30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル 他
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 君が代 ・ 奉仕の理想 」 ゲスト ・ ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



【 会 長 報 告 】

こまったときは四つのテストの実践を

我がクラブで奇数月の最終例会で唱和している四つのテストは、100年近く前の大恐慌のさなかに一人のロータリアンが考案した標語です。

創案者であるハーバート J.テラー（ハーブ）は、やり手で卓越したセールスマンであり、人の上に立つ人物でした。

ミシガン州に生まれたハーブは、イリノイ州エバンストンのノースウエスタン大学を卒業後、YMCAおよび英国陸軍福祉機関の任務で渡仏し、第1次世界大戦では米国海軍の補給部隊員として従軍しました。

1919年にグロリア・フォブリックさんと結婚して、米国オクラホマ州に新居を構えたハーブは、保険・不動産・石油リース仲介業を始めました。

この事業で成功を収めたハーブは、1925年にイリノイ州に戻り、シカゴのジュエル・ティー社に入社、とんとん拍子に昇進しました。

そしてシカゴロータリークラブの会員となりました。

1932年、ジュエル・ティー社の次期社長候補であったハーブは、破産寸前状態にあったシカゴのクラブ・アルミニウム社の再建を依頼されました。調理器具メーカーの同社は、総資産額を上回る負債を抱え、倒産の瀬戸際にありましたが、ハーブはこの難事業を引き受け、これまでの給与の8割減という収入でクラブ・アルミニウム社の社長に就任しました。そのうえ、運営資金に充てるため、自己資金6,100ドルを同社に投資したのです。

クラブ・アルミニウム社の立て直しについて構想をめぐらせたハーブは、最初100語からなる標語を作りましたが、これは長すぎると判断して、さらに推敲を重ね、7つの項目にまとめました。しかし、これでも長いと考えた彼は、それを自問形式の4項目にまとめ上げ、それが四つのテストとなりました。

このようにして、「言行はこれに照らしてから」の四つのテストが誕生したのです。

- 1, 真実か どうか
- 2, みんなに公平か
- 3, 好意と友情を深めるか
- 4, みんなのためになるか どうか

このテストは、事の大小にかかわらず、クラブ・アルミニウム社が諸事決定を下す際の基本となったのです。しかし、テストというものはどんなものであれ、実際に検証される必要があります。ある弁護士はハーブにこう言いました。「もし私がこのテストを厳密に実行したら、私は飢え死にするでしょう。ビジネスに関して言えば、四つのテストは絶対に実行不可能です」この弁護士の懸念もわからないではありません。

他者の利益の為に行動評価を行うよう求める倫理システムは、どんなものであれ大きな負担を伴います。

しかし、1930年代のクラブ・アルミニウム社においては、あらゆることで実施されました。まず広告に対してそれは適用されました。「より良い」とか「最上の」とか、あるいは「最高の」や「最高級の」といった表現が広告から削られ、製品に関する事実に基づいた説明文が載せられることになりました。競合他社の欠点を論ずる文面も、広告や企業案内から取り除かれました。

このように四つのテストを実践したクラブ・アルミニウム社の信頼は次第に高まっています。

そんなある日のこと、会社に調理器具 5 万点の注文が入りました。

その時期、会社は依然として倒産の危機から脱しておらず、最高幹部の人たちは商談が成立することを望んでいました。しかし、一つ問題点がありました。販売部長が聞いたところでは、注文主である業者は商品を値引きして販売したいというのです。「これでは、これまでわが社の製品を地道に宣伝し販促してきてくれたディーラーに対して不公平となります」というのが販売部長の意見でした。結局、この注文は断りました。その年には、ほかにいくつか厳しい決断が下されましたが、これは、その中で最も苦渋に満ちた決断の一つでした。

こうして四つのテストを実践したクラブ・アルミニウム社は 3 年後には負債は完済され、その後の 15 年間では、株主に対して 100 万ドル以上もの配当が支払われました。また、同社の純資産は 200 万ドル以上に達しました。

ハーブは、ロータリーの創立 50 周年記念にあたる 1954-55 年度 R I 会長に就いた時、四つのテストの著作権を R I に移譲しています。

そして四つのテストは、ロータリアンが価値ある目標を達成するための指針となりました。

- その目標とは、良き友人を探し、選び、その友人関係を維持すること
- 周りの人たちと友好関係を築くこと
- 幸福な家庭生活をつくりあげること
- 高い倫理的・道徳的基準を設定し身につけること
- 自ら選択した事業や専門職で成功を収めること
- より良き市民となり、次の世代にとっての良き手本となることでもあります。

【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	第 2710 地区事務局 ・ 2024-25 年度 各種報告について ・ ロータリー文庫からのお願い ・ 財団室 NEWS 2024 年 7 月号
2	福山 RC より ・ 創立 70 周年記念誌
3	

【プログラム情報】

《 会長・幹事 所信表明 》



◇ 会長 … 鹿内 要秀

2024-25 年度 クラブ会長テーマ

「奉仕によるこび、よりよい社会を築こう」

2024-25 年度 R I ステファニー・A・アーチック会長のテーマは「The Magic of Rotary」(ロータリーのマジック)です。

アーチック会長は自身の体験談として、ドミニカ共和国で浄水器設置活動をしていたときに、汚水が浄水器に入り透明な水が出てくるところを見ていた少年に「もう一度魔法を見せて」と言われました。そのときに私の人生も変わったと述べています。我がクラブもこのような感動的な奉仕を実践すべく、次年度の会長テーマを「奉仕によるこび、よりよい社会を築こう」としました。また、上田文雄地区ガバナーはその信条の中で変革に取り組もうと述べられています。そのようなことをふまえて、今年度は以下の様に運営方針を定めました。

どうか、福山西ロータリークラブの会員の皆様にはご理解の上、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2024-25 福山西ロータリークラブ運営方針

1. クラブの文化(風土)を継承するとともに、多様性、公平性、居心地が良いクラブを目指します
(若者・高齢者・女性に配慮します)

対応策を 4 つ示します

(1) 奉仕の理想作戦

R情報委員会が主体となることができる限り毎例会で 3 分間スピーチを行い、ロータリーの基礎を学びます。

(2) 集いて図る心は一つ作戦

クラブフォーラムにおいてロータリーの奉仕の理念を確認し、奉仕活動での会員同士の齟齬が生じないようにします(心を一つにして全員で奉仕の達成感が得られるようにします)

クラブフォーラム参加の心得

- ・自由にディスカッションに参加してください
- ・注意深く聞きましょう
- ・経験を自由に語り合きましょう
- ・本題から離れないように注意しましょう
- ・他人の意見に対して寛容に
- ・自分と違った視点に対し感謝しましょう

(3) 手に手つないで作戦

クラブ内に相談係を設けて新会員のロータリーへの疑問に答えるとともに会員同士の意思疎通を図ります。

(4) さあ！一緒に食べようおいしい昼食（おひる）作戦

新会員のアドバイザーにはなるべく新会員となじみのある方になっていただき、例会を楽しんでもらうとともに、早くクラブを理解してもらうように気をつけます

2. 永く続く良い奉仕活動の内容を充実させます

対応策を一つ示します

(5) 向上奉仕作戦

長期ビジョン検討委員会を活用してこれからの社会問題への対応策を考えるとともに、新しい奉仕活動を提案してもらいます

3. 地域社会の問題やニーズを調査して、現在の活動を見直し、簡素化、廃止を検討します

対応策を一つ示します

(6) 奉仕の理想作戦

クラブ協議会には委員長以外の会員にも積極的に参加してもらい、継続されている奉仕活動の検証と今後の奉仕内容について検討します

4. 奉仕活動への積極的な参加を促す

対応策を一つ示します

(7) とともに歩もう奉仕の道を作戦

例会変更で行われる例会場以外の奉仕活動の実践の現場には会員全員が参加して奉仕の効果を検証するとともに、より一層の充実を目指します

5. 省エネ、リサイクルなどに取り組み環境分野での奉仕に取り組む

対応策を一つ示します

*我らのロータリー作戦

ペーパーレス化の促進

会員手帳に記載されている以下の部分を電子デバイスで簡単に閲覧できるようにシステムを構築するとともに各会員に閲覧方法をアドバイスします

- ①カレンダー（年間行事予定） 設定済み
- ②会員名簿を開くと顔とデータが一覧になるようにします 今後設定する予定
- ③スマイルボックス内規 今後設定する予定
- ④その他必要項目

【重点目標】

- ①会員純増2名以上と退会防止
- ②楽しい例会を実施する
- ③同好会を含む親睦活動の活性化
- ④広報などを活用してロータリーの公共イメージの向上を図る
- ⑤各種大会への積極的な参加

⑥地区目標を踏まえたロータリー財団及び米山記念奨学会への支援

⑦マイロータリー全員登録の取組実施

私が考える奉仕の理念

奉仕は誰かのためにすることです。奉仕は困っている人に手を差し伸べる行為です。

その為にロータリーでは物品や金銭等を支援しています。

しかし、単に物理的に支援するだけではロータリーはただの物品提供者になってしまいます。

それでは奉仕する側もされる方も本当に満足することはないでしょう。

また、世の中に良いことをしたいと思っている人がたくさんいたとしても、それぞれが単独で行う奉仕活動には限界があり、地図の上の一つの点でしかありません。

その点をつないで世界中に奉仕の輪を広げるためには理念が必要です。それが奉仕の理想です。

やがてその理念で一人一人の奉仕者がお互いに手に手つないで地図上の点が面になって世界を覆った時、この世に久遠の平和がもたらされます。

これがロータリーの奉仕の理想であり、会員増強をする目的です。私たちロータリアンは世界をよりよくする使命を与えられた存在であることを忘れてはいけません。

その使命を忘れないように歌うのがロータリーソングですから、毎例会では自信を持って大きな声で歌いましょう。

我らの生業

我らの生業さまざまなれど

集いて図る心は一つ

求むるところは平和親睦

力むるところは向上奉仕

おおロータリアン

我らの集い



◇ 幹事 … 吉山 聡

この度 2024-2025 年度幹事を拝命いたしました、吉山聡です宜しくお願いします。

この福山西ロータリークラブといった名門のクラブに入会し、しかも幹事をやれる事は私の中でも感極まりないことでございます。会長をはじめ、様々な委員会など各面々の方々宜しくお願いします。

まず初めに私はやる時はやる、やらない時はまったくやらない男でございますがやらない時というのを乗り越えて完全体で行こうと思っています。

私は、西暦 1969 年に福山市で生まれ、現在に至ります。小さなころから勉学が好きで寝ても覚めても勉強の勉学大好き少年でした。そんな私がロータリーに目を付けられたのが今から 4 年位前でした、岡崎さんと能登さんに目を付けられやむなく入会したのを覚えております。

これはみんな言うことですが、とにかく入会したものの、右も左も前も後ろもわからない状態で入会しましたのでよくわからないのが確かです、でもそうともいってられないのでやっつけようと思います。

本日、皆様のお手元に活動計画書が届いていると思います。

福山西ロータリークラブの今年度鹿内会長の重点目標を見ていただくと、

- ① 会員純増 2 名以上と退会防止
- ② 楽しい例会を実施する
- ③ 同好会をふくむ親睦活動の活性化
- ④ 広報などを活用してロータリーの公共イメージの向上を図る
- ⑤ 各種大会への積極的な参加
- ⑥ 地区目標を踏まえたロータリー財団及び米山記念奨学会への支援
- ⑦ マイロータリー全員登録の取組実施
という事です

会員増強ですが昨年度同様、渡邊祥子様による会員増強を主体として、奥野増強委員長に頑張っていたきたいと思います。

例会等は会員の皆様が楽しめるプログラムを例会委員会とともに考えていきたいと思っています。10月8日の職場例会では備後飯金様を訪れるようになっております。なかなか普段は見学等が出来ない場所だと思しますので、とても楽しみにしております。

8月30日に行われる納涼夜間例会や3月4日に行われる、スピーチコンテスト上位入賞者卓話など楽しい例会がどっさりです。

同好会ではゴルフや釣り、二輪同好会、カラオケ、英語等色々がございますが、私は釣りが好きなので釣りクラブに入っております。新会員の皆様もどんどん同好会に参加して、親睦を深めてしっかりと楽しんで下さい。広報は渡邊祥子さんを筆頭に奉仕活動を地域メディアに発信して様々な人にロータリー活動を理解していただこうと思っています。

各種大会への積極的な参加ですが、今年度の地区大会は岩国であります。一年に一度、第2710地区からたくさんのロータリアンが集まる大会です。新会員の皆様にとっても、とても良い経験になると思いますので、ぜひ参加をお願い致します。

委員会行事として米山記念奨学会は10月1日に米山奨学生のゲスト卓話があります。それと11月26日にロータリー財団で地区財団関係者のゲスト卓話があります。

ロータリー財団に関しては、私を含め新会員の皆様もなかなか理解が難しいと思いますが、しっかりと学びたいと思っています。

マイロータリー登録ですが、私も今現在実行しているところなので皆さんも登録を宜しくお願いします。

また、2024-25年度は、福山西RCの35周年記念式典がございます。実行委員会も立ち上げましたので、しっかりと準備を進めてまいります。記念事業としては、来年は福山市で世界バラ会議が開催されますので、社会奉仕委員会の奉仕活動に絡めて心に残るような奉仕事業としたいです。会員の皆様も、ご協力をお願い致します。

幹事の役割などですが、クラブの状況を常に把握できる立場にある幹事は、クラブの良いところ改善点などを見つけ出し幹事の任務に備えるため、日夜確認をするべきと考えております。

最後にこれから1年間皆様には多々ご迷惑をかけるかもしれませんが、是非とも暖かい目で見守ってください。宜しくお願いします。

【その他報告】

《入会式》



【新入会員紹介】

氏名	柚木 圭 さん
生年月日	昭和 56 年 7 月 31 日
職業分類	通信販売業
推薦者	渡邊 祥子 さん
アドバイザー	黒木 成光 さん
所属委員会	親睦委員会 職業奉仕委員会 社会奉仕委員会



《 各種表彰等 》

【前年度会長・幹事 記念品贈呈】



2023-24 年度会長 瀬尾義裕 さん・2023-24 年度幹事 黒木成光 さん

第 1575 回例会 BGM

吉山聡さん 選曲♪

松田聖子「野ばらのエチュード」

【クラブ活動報告】

【外国人留学生支援】



6月27日に「外国人留学生を支援する会」に食品（ラーメン）を届けました。
会員の皆様、募金のご協力をありがとうございました。

2023-24年度 国際奉仕委員会

